

# 開国の先駆者たち

## 象山・松陰・聖謨・小楠

[著] 土谷 精作

欧米列強に開国を迫られた幕末。時代の先駆者たちは、広く世界に眼を向けて思索し、誠実に行動し、生死を度外視して言うべきことを言った。

黒船来航から170年。世界が歴史の曲がり角に入った今、彼らの生きざまは私たちの選択の参考になるだろう。



### ◆目次

- 幕末の鬼才 佐久間象山(しょうざん)  
—その老母も世界を見ていた—
- 「狂悖(きょうはい)の人」吉田松陰  
—獄中書簡にその生きざまを辿る—
- 残照の幕臣 川路聖謨  
—プチャーチンにどう応接したか—
- 天下の師父 横井小楠  
—勝海舟はその識見に敬服した—
- 先駆者たちの最期  
—刑死、暗殺 そして殉死—
- 明治への序曲 —一八六三年  
—オランダへの留学と攘夷戦争と—
- 結びに代えて・参考文献

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 Tel 052-915-5211 Fax 052-915-5019
	冊	[著] 土谷 精作 象山・松陰・聖謨・小楠 <b>開国の先駆者たち</b> 200頁 / A5版 / ソフトカバー 定価 2,000円 (税別) ISBN 978-4-86693-725-0 C1021
ご注文は、JRCへ FAX:03 - 3294 - 2177 (TEL:03 - 5283 - 2230) 株式会社 JRC 経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		